

児童室だより No. 83(2013. 4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>『一さつのおくりもの』</p> <p>森山京作 鴨下潤絵 講談社 2012.11 【小低】</p>	<p>クマタのお気に入りのえほんは、『かいがらのおくりもの』。まいにちよんでいるので、文はぜんぶおぼえています。ある日、大雨が降りつづき、山のむこうにあるふかみどり村が、こうすいで水びたしになってしまいました。たすけに向かうおとなたち。クマタたちは、子どもたちに絵本をおくることにしました。クマタのえほんは、やぶれたりよごれたりしているものがほとんどで、きれいなものは『かいがらのおくりもの』だけでした。</p> <p>(J913-モリ-1110558472)</p>
<p>『ともだちのはじまり』</p> <p>最上一平作 みやこしあきこ絵 ポプラ社 2012.12 【小低】</p>	<p>活発なじゅじゅと引っ込み思案のさと。性格がちがうふたりは、1年3組の教室でとなり同士の席なのに、あまりはなしをしたことがありません。ある日、じゅじゅが消しゴムを忘れたので、さとが貸してあげると、休み時間にじゅじゅはさとに、あるひみつを打ち明けました。じゅじゅはハッピー星からやってきたハッピー星人で、しあわせをさがしにやってきたのだと…。</p> <p>(J913-モカ-1110564353)</p>
<p>『ふるさとをさがして 難民のきもち、寄り添うきもち』</p> <p>根本かおる著 サカイノビー絵 学研教育出版 2012.12 【小中～小高】</p>	<p>ブータン難民の少女スニータは、ネパールの難民キャンプで家族と暮らしています。キャンプには学校や診療所のほか、お店屋さんもいろいろありますが、電気・ガス・水道はありません。国連が支援を行っていますが、十分ではなく、そこで、役に立っているのが、企業からの支援です。集めた服を派遣された社員が手渡ししているユニクロ、現地で眼鏡を作って提供している富士メガネなどの活動を紹介して、私たちにどんな支援ができるのかを考えます。</p> <p>(J369-ネモ-1110564335)</p>
<p>『劇団6年2組』</p> <p>吉野万理子作 宮尾和孝絵 学研教育出版 2012.11 【小中～小高】</p>	<p>学校で、劇団の芝居をみて感動した立樹たち6年2組は、卒業式前のお別れ会で劇をやることにしました。台本をもとに練習をはじめましたが、役の気持ちがいまひとつわかりません。苦勞をする立樹たちに意地悪を言うクラスメイトの慶司。実は、慶司は以前子役をやっていて、演劇に詳しいのでした。嫌な思いをして子役をやめた慶司でしたが、次第に立樹たちに協力するようになります。そして、立樹たちは、役の気持ちを考えながら、自分たちの芝居を作っていきます。</p> <p>(J913-ヨシ-1110549348)</p>
<p>『駅の小さな野良ネコ』</p> <p>ジーン・クレイグヘッド・ジョージ作 斎藤倫子訳 徳間書店 2013.1 【小高】</p>	<p>虐待され、川に捨てられた子ネコのラチェットは、女王ネコのクイーネラがボスとして君臨している駅前の空き地にたどり着きました。空き地の隣には、幽霊屋敷と呼ばれている屋敷があり、里親のおばさんと少年マイケルが暮らしていました。マイケルは、ラチェットを見るなり、飼いたいと思いますが、動物嫌いのおばさんに許してもらえません。ラチェットも、マイケルにはどこか惹かれるものを感じますが、人間への恐怖心を追い払うことができません…。</p> <p>(J933-シヨ-1110585587)</p>
<p>『有松の庄九郎』</p> <p>中川なをみ作 こしだミカ絵 新日本出版社 2012.11 【小高】</p>	<p>江戸時代初期、有松絞りを開発した竹田庄九郎の物語。庄九郎は、尾張の国阿久比の庄に暮らす貧しい百姓でした。徳川家が東海道整備のために作るようにお触れを出した新しい村有松に、庄九郎ら村の若者数人が移住を決めました。開拓して畑を耕しますが、うまくいかず、名古屋城築城の人足として働きました。そこで、豊後絞りの手ぬぐいを目にした庄九郎は、東海道を旅する人びとに、土産用の藍染めの手ぬぐいを売ることを思いつきました。</p> <p>(J913-ナカ-1110558688)</p>

本の情報	内容
<p data-bbox="309 230 587 264">『チャーシューの月』</p> <p data-bbox="347 304 549 398">村中季衣作 佐藤真紀子絵 小峰書店 2012.12</p> <p data-bbox="411 439 485 465">【小高】</p>	<p data-bbox="715 224 1391 443">もうすぐ中学生になる美香は、児童養護施設あけぼの園で暮らしています。園にはさまざまな理由で親と一緒に暮らせない子どもたちが、共同生活を送っています。そこへ、6歳の明希が父親に連れられてやってきました。明希は、見たものを写真に撮るように記憶できる才能の持ち主でした。ある日、母親が明希を引き取りたいと施設を訪ねてきました。母親が明希を置いて家を出たのは、明希が赤ん坊の時でしたが、記憶力が優れている明希は、それを覚えていて…。</p> <p data-bbox="1155 470 1391 497">(J913-ムラ-1110581541)</p>
<p data-bbox="284 517 612 584">『ヘリオット先生と動物たちの8つの物語』</p> <p data-bbox="322 607 574 768">ジェイムズ・ヘリオット作 杉田比呂美絵 村上由見子訳 集英社 2012.11 【小高～YA】</p>	<p data-bbox="715 526 1375 745">獣医のヘリオット先生は、診察先に向う途中、一匹の子猫を見つけました。極寒の中、子猫は助からないと思われましたが、暖かいオープンの中に入れて暖めるという昔ながらの方法で、一命をとりとめました。またあるとき、診察先の婦人の家に通ってくる不思議な野良猫を見ました。餌をもらい、暖炉の火にあたると外へ出ていくのです。捕まえようとしてもできません。ヘリオット先生が往診先で見知った動物と人間とのふれあいを書いた8篇の短編集。</p> <p data-bbox="1155 772 1391 799">(J933-ヘリ-1110553645)</p>